

第78期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

繋ぐを創る 世界を繋ぐ

リックグループは、

“販売・技術・製造・サービスの高度な融合”とパートナーとの“協創”により、
世界の産業界の課題解決のためのソリューションを提供します。

RIX リックス株式会社

証券コード：7525

事業紹介

商品

圧力発生機

ブランジャーポンプ

高圧水の発生源となるポンプ
高圧水洗浄装置の動力源として
利用



応用機器・システム商品

ロッキーワッシャー

多用途の高圧水洗浄機



金属接合機(TOX)

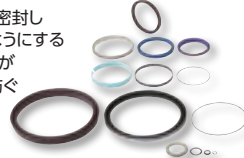
異種金属板を
接合する機械



付属機器・部品

オイルシール類

高圧の水・油を密封し
外に漏れないようにする
外部からダストが
侵入するのを防ぐ



関連技術商品

三方ピストン弁
(ロッキーバルブ)

高圧のガス等の流量を
調整する弁
主にタイヤメーカーの
加硫機に使用



製品

応用機器・システム製品

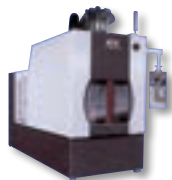
フラックス精密洗浄装置

半導体新製品(CSP、
BGA等)の製造工程に
使用されるフラックス
を除去し、純水にて精密
仕上げ洗浄を行う装置



NC高圧洗浄機
(ジェットフレックス)

自動車業界向けの、高
圧水を利用した部品の
深穴の金属バリ取装置



付属機器・部品

クリーンルーム対応ロータリージョイント

半導体業界で、CMP設
備などに水や研磨剤な
どを供給する回転継手



工作機械用ロータリージョイント

マシニングセンタ
でクランツ液を
スピンドルから噴
射する用途に使用
する回転継手



営業区分

リックスはお客様のニーズに
迅速・的確に対応できる顧客
密着型の「メーカー 商社」と
いう業態です。

鉄 鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

工作機械

高機能材

環 境

紙パルプ

その他

商社機能

メーカー機能

ごあいさつ

株主の皆様には、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第78期中間期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)における業績の
とりまとめを終えましたので、ここに第78期中間報告書をお届けいたします。

中期3ヵ年計画「GP2023」もいよいよ最終年度に突入し、リックスグループは
その総仕上げに邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも
一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 社長執行役員 安井 卓

販売・技術・製造・サービスの高度な融合を目指す
メーカー商社として世界の産業界に貢献します。

Q 当中間期の営業概況について教えてください。

A 前年同期比で、売上高は11.7%増の236億56百
万円、営業利益は24.3%増の17億57百万円、経常
利益は17.1%増の20億31百万円、親会社株主に帰属する
四半期純利益は20.7%増の14億19百万円となりました。

当中間期の世界経済は、個人消費の回復によるサービ
ス産業での需要拡大は見られますが、世界的な高インフレ
の継続や景気減速による需要低下により製造業の景況は
低迷が続いております。また、日本経済は、サービス産業に
関連するインバウンド需要は堅調に推移しております。しか
しながら製造業については設備投資への機運も高まりました
が、海外経済の減速による影響を受け、海外向けの需要
は低迷しております。

このような経済環境の中、当社グループでは中期3ヵ年
計画「GP2023」に基づく施策に取り組んだ結果、当第2
四半期連結累計期間の連結業績は、売上高236億56百
万円(前年同期比11.7%増)、営業利益17億57百万円(同

24.3%増)、経常利益20億31百万円(同17.1%増)、親会社
株主に帰属する四半期純利益14億19百万円(同20.7%
増)となりました。

Q 当中間期のセグメント別事業の概況について教えて
ください。

A 8セグメント中、6セグメントで増収となりました。

鉄鋼業界向けでは、生産比例品だけでなく整備部門
への営業活動に注力した結果、既存設備の更新及び増設
案件の受注や保全分野への深耕による大型案件の受注等
により、売上は増加しました。この結果、鉄鋼業界向け全体
としての売上高は69億3百万円(前年同期比16.1%増)と
なりました。

自動車業界向けでは、CASE市場で注目されている電池や
モーター分野への営業・提案活動に注力した結果、国内及び
海外工場の電池製造部門への部材の販売や省エネ化案件
として機械加工工程への当社オリジナル品であるイン

パーツ類の販売等が売上増に寄与しました。この結果、自動車業界向け全体としての売上高は45億76百万円(前年同期比14.7%増)となりました。

電子・半導体業界向けでは、修理・再生ビジネスに加え、現場・設備・保全部門に対して営業活動に注力した結果、長納期化していた半導体製造装置各種部材や当社オリジナル品である精密洗浄装置類の販売が増加したこと等により売上は伸長しました。この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は33億80百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、前期に続き開発案件のフォローや新規案件、設備投資に関する営業活動に注力した結果、当社グループ会社のオリジナル品であるバルブ・タイヤ関連機器の販売が国内・国外問わず好調であったことや、装置部品更新案件の受注等により売上が増加しました。この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は19億19百万円(前年同期比54.4%増)となりました。

工作機械業界向けでは、工作機械の5軸化・複合化の要求に対応する用途開発・機器の営業に注力した結果、クーラント装置メーカー向けにポンプ類の販売が増加したほか、工作機械メーカー向けのクーラント浄化システムの受注等により売上は増加しました。この結果、工作機械業界向け全体として

の売上高は13億61百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

高機能材業界向けでは、医薬・化粧品分野の開拓に加え、修理・再生ビジネスにも注力した結果、原料工程向け移送設備案件の受注などプラス材料はありましたが、全体としては前年同期実績に及びませんでした。この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は10億5百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

環境業界向けでは、近年重要視されている環境産業・エネルギー産業への深耕に注力した結果、焼却施設設備における当社グループ会社のオリジナル品の更新及びメンテナンス案件を受注しましたが、前年同期に発生した特需が今期にはなく、売上は減少しました。この結果、環境業界向け全体としての売上高は9億81百万円(前年同期比14.5%減)となりました。

紙パルプ業界向けでは、各社が注力しているバイオマス素材やエネルギー分野を開拓した結果、特にボイラー関連機器やバルブ類の販売が伸び、売上は増加しました。この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は4億43百万円(前年同期比17.3%増)となりました。

Q 下半期の展望などについてお聞かせください。

A 先般、2024年3月期の通期連結業績予想を上方修正いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主に鉄鋼、自動車及びゴム・タイヤセグメントで売上が順調に推移したことや、円安に伴う為替差益も後押しとなったこと等により、売上高ならびに全利益項目で計画値を上回りました。

このような当第2四半期の実績を踏まえ、2023年10月に当社は、2024年3月期の通期連結業績予想を、売上高は475億円(増加額4億円・増加率0.8%)、営業利益は35億60百万円(同1億20百万円・同3.5%)、経常利益は38億60百万円(同3億10百万円・8.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は26億90百万円(同2億60百万円・同10.7%)へと上方修正いたしました。

通期連結業績予想については、第3四半期以降に電子・半導体及び工作機械セグメントの受注・売上の伸びが鈍化する見通しであり、そのほかのセグメントでカバーできるかが現時点で不確実であることから、前回予想の下期業績分(2023年10月～2024年3月)を据え置いて、第2四半期業

績予想の上方修正分を上乗せした修正となります。

Q 株主還元の状態など株主様へのメッセージをお願いします。

A 中間配当は前回予想よりも10円増額し、期末普通配当予想も上方修正いたしました。

株主様への利益還元について当社では、連結配当性向40%を目標とし、経営成績に応じた配当を行うことを基本方針としております。

このような方針の下、当第2四半期連結累計期間の業績が計画値を順調に上回ったことを鑑み、当中間期末では、前回予想よりも10円増額となる1株当たり70円の中間配当を実施させていただきました。また、前述のように通期業績予想を上方修正したことに伴い、期末配当予定は前回予想よりも3円増額し、1株当たり63円といたしました。これにより年間配当金は、1株当たり133円となる見込みです。

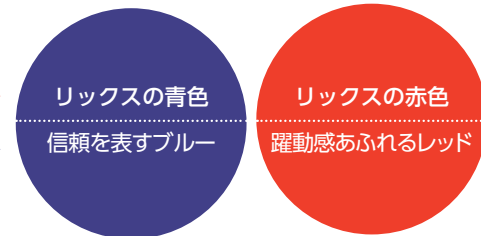
株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Corporate Identity

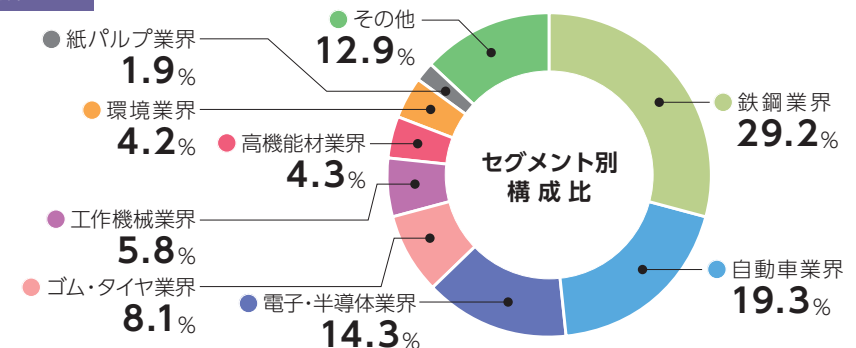
培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。

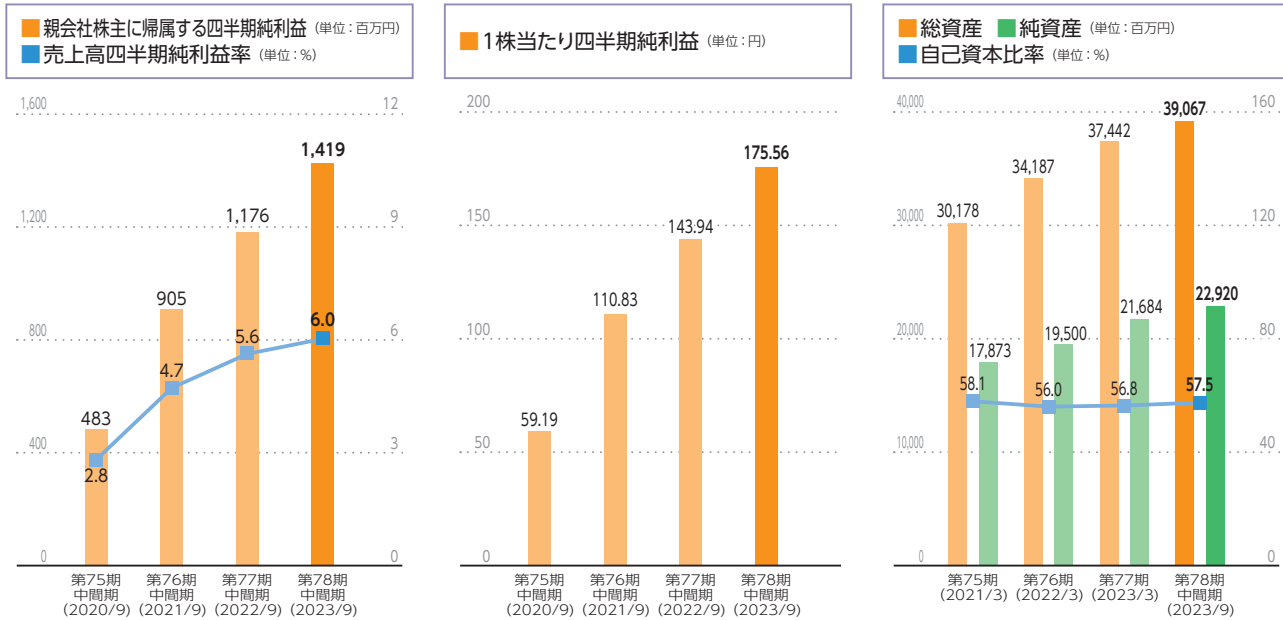
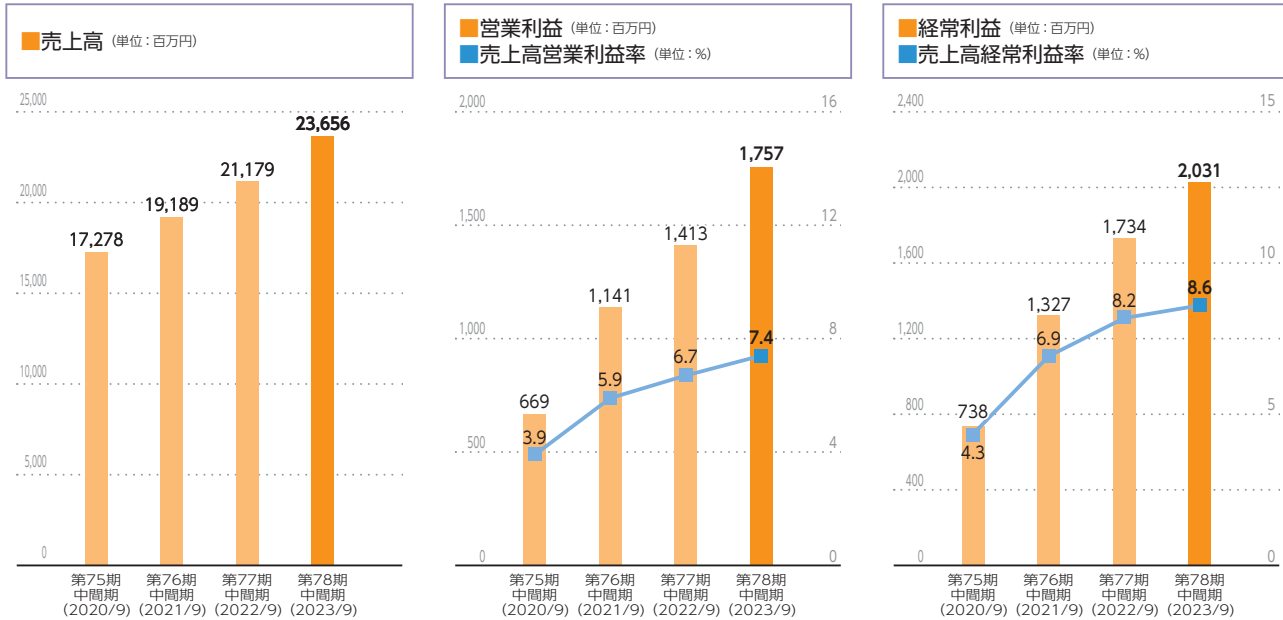


- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY (工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性



セグメント別構成比





当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業の少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な経営課題となっております。

2021年度より中期3カ年計画「GP2023」を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

GP2023 (Rix Growth Plan) 2021年度～2023年度

ビジョン リックスグループは、“販売・技術・製造・サービスの高度な融合”とパートナーとの“協創”により、世界の産業界の課題解決のためのソリューションを提供します。

目標 2023年度 連結経常利益 **35億円**の達成

- 方針**
- 1. ビジネス領域の拡大**
 - ① 現状の業界・業種の拡大 (顧客開発部門への複合型メーカー商社^{※1}機能の強化)
 - ② 成長分野の開拓 (車の電動化、再生エネルギー、医薬・化粧品、建機等の新規顧客開拓と流体制御技術を軸とした新商品・新製品・新サービス開発強化)
 - ③ 海外展開の強化 (北米、中国、インドの事業強化)
 - 2. 収益性の向上**
 - ① 事業活動の効率化 (DXの推進)
 - ② オリジナル品^{※2}比率の向上 (新製品・新商品開発)
 - 3. 人材・組織の革新**
 - ① ライフ・ワーク・バランスの充実
 - ② Rixing Action^{※3}を実践できる人材の育成、定着
 - ③ 社内外協創を実現する組織の構築
 - 4. ステークホルダーリレーションの向上**
 - ① CSV-Creating Shared Value (リックスのビジネスを通じた社会貢献) 活動の推進
 - ② ステークホルダーとのコミュニケーションの強化
- ※1 複合型メーカー商社とは、モノ売りだけではなく、お客様のモノづくりのプロセス全体 (企画、開発、生産技術、製造現場、保全、廃棄) に対応できる機能 (試作・開発支援、メンテナンス、据付、再生・廃棄、運用等) を持ったメーカー商社のこと。
 ※2 オリジナル品とは、リックスグループのみから提供できる商品・製品・サービスまたはその組み合わせのことをいう。
 ※3 Rixing Actionとは、RIXの経営理念・行動指針、社風・歴史、ビジネスモデル等を表す総称であり、脈々と受け継がれてきたもの。

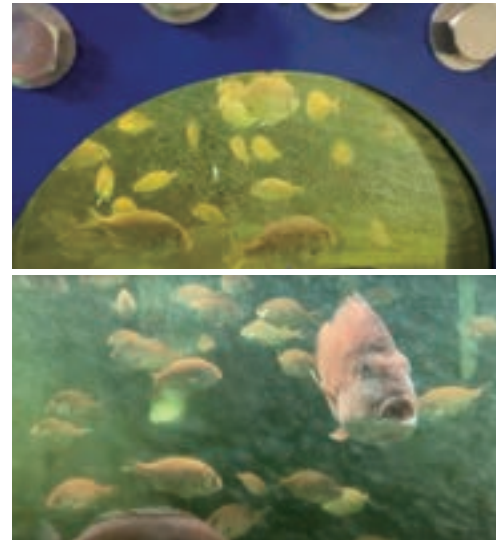
01

陸上養殖設備の開発・実証実験を開始

陸上養殖設備の開発・実証実験を開始しました。創業115年の“メーカー商社”のノウハウを結集し、複数の社会課題(環境 / 食料)の解決に貢献できるよう開発・実験を進めてまいります。



開発中の陸上養殖設備



実証実験の設備で養殖中の魚

目的

当社は産業界に貢献する“メーカー商社”という業態で活動しており、創業115年の歴史の中で流体関連機器の技術やノウハウを培ってきました。また、海水に強いFRPポンプや、ポンプを制御するインバータ、フィルターなど、陸上養殖設備に関する機器を当社グループ内で取り扱っています。そのような当社のノウハウを結集することで、漁獲量減少、赤潮発生、食料不足などの社会課題を解決するための陸上養殖設備の開発を進めていきます。

特徴

01. 完全閉鎖循環式陸上養殖設備で水替えは必要無し。1年ごとの換水で人工海水の使用量を大幅に削減。
02. 魚のフンやエサの食べ残しは1次スクリーンで除去し、酵素分解で処理。廃棄物を大幅に削減。
03. 赤潮や自然災害等の影響を受けないため、安定した操業が実現可能。
04. アニサキスなどの食中毒の発生が極めて低い安心・安全な魚の養殖が可能。

02

外部機関との連携強化で新製品・サービス開発 オープンイノベーションを推進

2023年8月1日より、当社とともに産業界向けの新製品・サービスの開発を推進するパートナー様(事業者)を募集する「アクセラレータープログラム」を開始しました。

(Creww^株提供のオープンイノベーション支援サービスを活用)



目的

当社は長期ビジョン内で「※協創」というキーワードを掲げています。新製品・商品・サービスの開発を強化するには自社内だけでは限界があるため、パートナー様と協創して開発を加速させるために「アクセラレータープログラム」を開始しました。

実現 したいこと

01. 産業界におけるサステナブルなビジネスの実現をサポートする技術・ソリューションの開発。
02. 顧客のモノづくりプロセスにおける当社の主戦場を拡大する技術・ソリューションの開発。

※協創とは…社内はもちろん、顧客、仕入先、大学、ベンチャー、国の機関などと“協”力してソリューションを“創”り上げること

海外ネットワーク

(2023年9月30日現在)



事業所

(2023年9月30日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。

本社	★管理本部、企画本部、海外営業統括部
営業本部	■グローバル営業本部
営業所	●自動車事業部 豊田営業所、西尾営業所、小倉営業所 ●鉄鋼事業部 鹿嶋営業所、千葉営業所、君津営業所、東海営業所、和歌山営業所 ●東部営業部 苫小牧営業所、仙台営業所、宇都宮営業所、埼玉営業所、東京営業所、西東京営業所、横浜営業所、平塚営業所、富士営業所、名古屋営業所、北陸営業所、豊橋営業所、四日市営業所 ●西部営業部 滋賀営業所、大阪営業所、加古川営業所、姫路営業所、倉敷営業所、広島営業所、福山営業所、周南営業所、四国営業所、北九州営業所、福岡営業所、長崎営業所、大分営業所、熊本営業所、鹿児島営業所
工場	■福岡事業所 生産本部
研究・開発所	▲技術開発センター ▲中部テクニカルセンター ▲横浜事業所 NB開発本部



会社概要

(2023年9月30日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 467名(連結727名)
- 主要な事業内容 高圧液圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

取締役及び監査等委員である取締役

(2023年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	安井 卓	取締役(常勤監査等委員)	田原 俊二
代表取締役副社長執行役員	柿森 英明	取締役(監査等委員)	植松 功(*)
取締役専務執行役員	川久保 昇	取締役(監査等委員)	大山 一浩(*)
取締役常務執行役員	芹川 康介	取締役(監査等委員)	馬場 貞仁(*)
取締役 取締役 取締役	大沢 賢司		

(*)社外取締役

株式の状況

(2023年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 7,830名
- 大株主(上位10名)

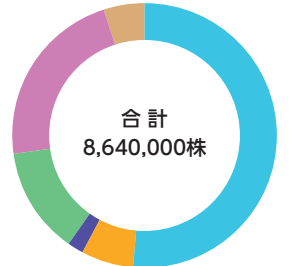
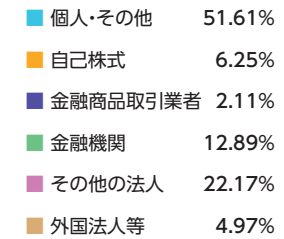
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	14.42
安井玄一郎	362	4.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	338	4.18
リック取引先持株会	329	4.07
リック従業員持株会	246	3.04
株式会社西日本シティ銀行	191	2.36
安井龍之助	177	2.19
園田和佳子	171	2.11
山田貴広	162	2.01
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	151	1.87

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 当社は自己株式539千株を保有しております。

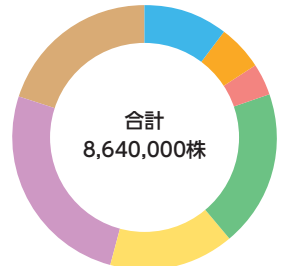
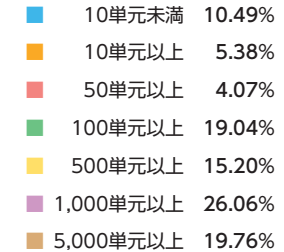
株式分布状況

(2023年9月30日現在)

所有者別株式分布状況

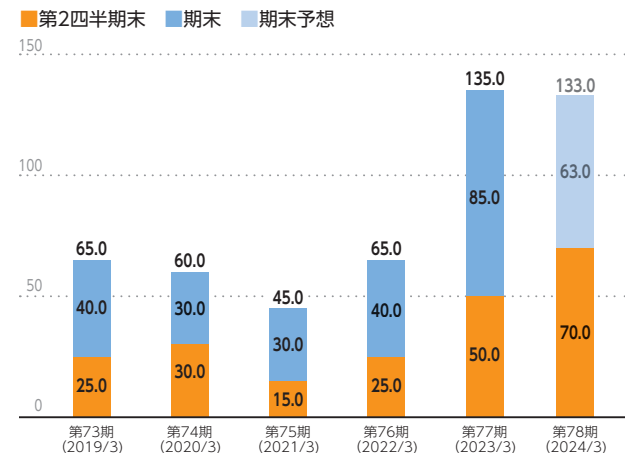


所有株数別株式分布状況



1株当たり配当金の推移

(単位:円)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する各種手続の申込先について

- 住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。
ただし、特別口座に登録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- 未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。

ご連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
------	---

公告方法	電子公告により行います。 公告掲載 URL https://www.rix.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。
------	--

単元株式数	100株
-------	------

上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 福岡証券取引所
---------	--------------------------

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

● 割当基準日	3月31日
● 優待内容	
100株以上300株未満 所有の株主様	⇒ クオカード 1,000円分
300株以上500株未満 所有の株主様	⇒ クオカード 2,000円分
500株以上1,000株未満 所有の株主様	⇒ クオカード 3,000円分
1,000株以上10,000株未満 所有の株主様	⇒ クオカード 4,000円分
10,000株以上 所有の株主様	⇒ クオカード 10,000円分

株主アンケートご協力をお願い

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただきますため、WEBアンケートを実施いたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから2023年12月31日(日)までになります。



パソコンから

右記のURLからアクセスいただけます。

<https://q.srdb.jp/>



スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。



メールから

enq@q.srdb.jpへ空メールをご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。